

令和8年1月27日

保護者の皆様

小金井市立小金井第一小学校
校長 増田亮

令和7年度 学校評価アンケートの結果について

令和7年12月から令和8年1月に実施しました「学校評価アンケート」におきましては、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。以下のとおり、集計、分析結果をお知らせいたします。この結果は、1月17日に行われた学校運営協議会にも報告いたしました。ご回答いただいた内容については、今後の教育活動に生かしていくよう努めてまいります。

1 学校評価アンケートの目的

保護者の皆様と児童を対象に学校評価アンケートを実施し、学校の自己評価とともに、本結果を参考に取組を振り返り、令和8年度の学校運営や教育課程等に反映させることを目的としています。

2 学校評価アンケート（保護者）の結果について

（1）アンケートの概要

本アンケートは令和7年12月から令和8年1月に保護者の皆様を対象として実施し、79件のご回答をいただきました。授業、児童理解・支援、学校生活、安全・健康、情報発信など、学校運営に関する19項目について評価をいただきました。

（2）全体傾向

全体として、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が多く、学校への総合的な満足度は高い結果となりました。特に、交流活動・あいさつ・学校生活の明るさ・情報発信において高評価をいただきました。

（3）良い点（強みとして評価された点）

① 子供たちの明るさ・元気さ

肯定的評価が9割を超える、学校全体の雰囲気づくりが高く評価されました。

② あいさつの励行

全校での取組が浸透しており、保護者の皆様からの信頼度も高い結果となりました。

③ ハッピーフレンドタイム（縦割り活動）や学級間交流

積極的な交流活動が評価され、学校の一体感づくりにつながっています。

④ 情報発信（ＨＰ・まなびポケット等）

必要な情報が適切に提供されているとの声が多数でした。

（4）改善へのご意見と今後の取組

① 体力向上のための取組や健康教育の充実

肯定的評価を多くいただきましたが、ご家庭と連携した取組や日常的な活動の工夫をさらに進めてまいります。

② I C T活用や対話的な授業の見える化

タブレット端末の活用や協働的な学びについて、さらなる工夫・説明が必要とのご意見がありましたので、改善に取り組んでまいります。

③ いじめ・不登校の未然防止の強化

本校の特色のある教育として取り組んできたものですが、学校だより、学校ホームページ、保護者会等を通じて、わかりやすく、より丁寧な説明に取り組んでまいります。

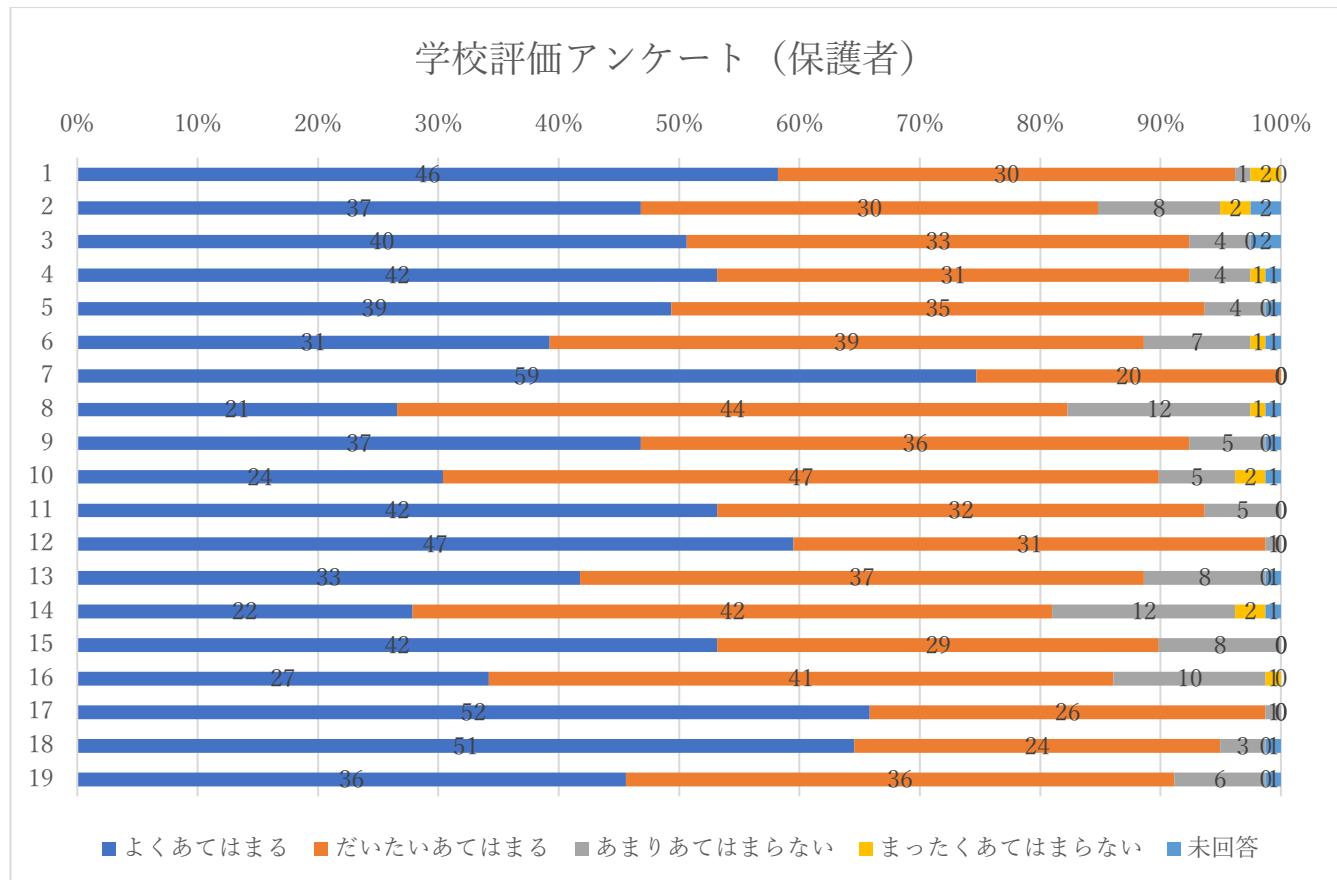
④ 特別な支援が必要な児童への対応

一人一人に合わせた学びの取組について丁寧に情報をお伝えすることや連携を密にすることで、保護者の皆さまにより安心していただけるよう努めてまいります。

(5) アンケート結果（保護者）

<項目>

- 1 学校は、進んで考える授業づくりに努め、子供に基礎学力をつけている。
- 2 学校は、タブレットや I C T 機器等を活用するとともに、子供同士が対話を通して関わり合う授業を進めている。
- 3 学校は、研究授業や研修等を通して、よりよい授業づくりに努力している。
- 4 学校は、子供たちにとって、授業が分かりやすい。
- 5 学校は、子供の声を聴くことに努力している。
- 6 学校は、特別な支援が必要な子供に適切に対応している。
- 7 学校は、ハッピーフрендタイム（たてわり班活動）や通常学級と梅の実学級との日常的な交流を進めている。
- 8 学校は、いじめ・不登校の未然防止に組織的に努めている。
- 9 学校は、「認め・励まし・支援する」という子供たちの関わりを実践している。
- 10 学校は、学校運営協議会と連携し、教育活動の充実を図っている。
- 11 学校は、ホームページやまなびポケット等を通して、積極的な発信に努めている。
- 12 学校は、子供のことについて、連絡・相談したいときに、適切に応じてくれる。
- 13 学校は、全教職員が力を合わせて子供たちの成長を考えている。
- 14 学校は、体力向上や健康教育に力を入れ、体を鍛える子供を育てている。
- 15 学校は、子供の健康や交通安全、不審者対応に適切に対応している。
- 16 学校は、子供が学習しやすいように校内施設の衛生や環境を改善・整備している。
- 17 子供たちは、明るく元気に毎日の学校生活を送っている。
- 18 学校は、あいさつの励行を全校で取り組み、子供たちのあいさつに対する意識の向上を図っている。
- 19 学校は、読書活動を十分に行っている。



3 学校評価アンケート（児童）の結果について

（1） アンケートの概要

本アンケートは、令和7年12月に実施し、日頃の学習や学校生活の様子について、20項目で自己評価を行いました。

（2） 全体傾向

多くの項目で「よくできた」「だいたいできた」と回答しており、学習面・生活面の両面で前向きに学校生活を送っている様子がうかがえます。

（3） 良い点

- ① あいさつや授業中の姿勢、話をよく聞く態度が身についている
- ② 学習への意欲が高く、前向きに取り組んでいる
- ③ 避難訓練など安全に関わる取組への意識が高い

（4） 改善点と今後の取組

- ① 廊下の歩き方、休み時間の過ごし方、整理整頓など生活習慣の定着

これらは、日々の積み重ねによって身についていくものでもあり、今後も学校と家庭が連携しながら丁寧に指導していきたいと考えております。

- ② 友達を思いやる行動や進んで手伝う姿勢

これらの力は、集団生活を通して少しずつ育っていくものです。学校としても、友達との関わり方や思いやりの気持ちについて、具体的な行動例を示しながら、子供たち同士がよりよい関係を築けるよう働きかけを続けていきます。

今回の結果は、子供たちそれぞれの成長過程の一場面であり、今後の指導につなげるための大切な資料と考えております。

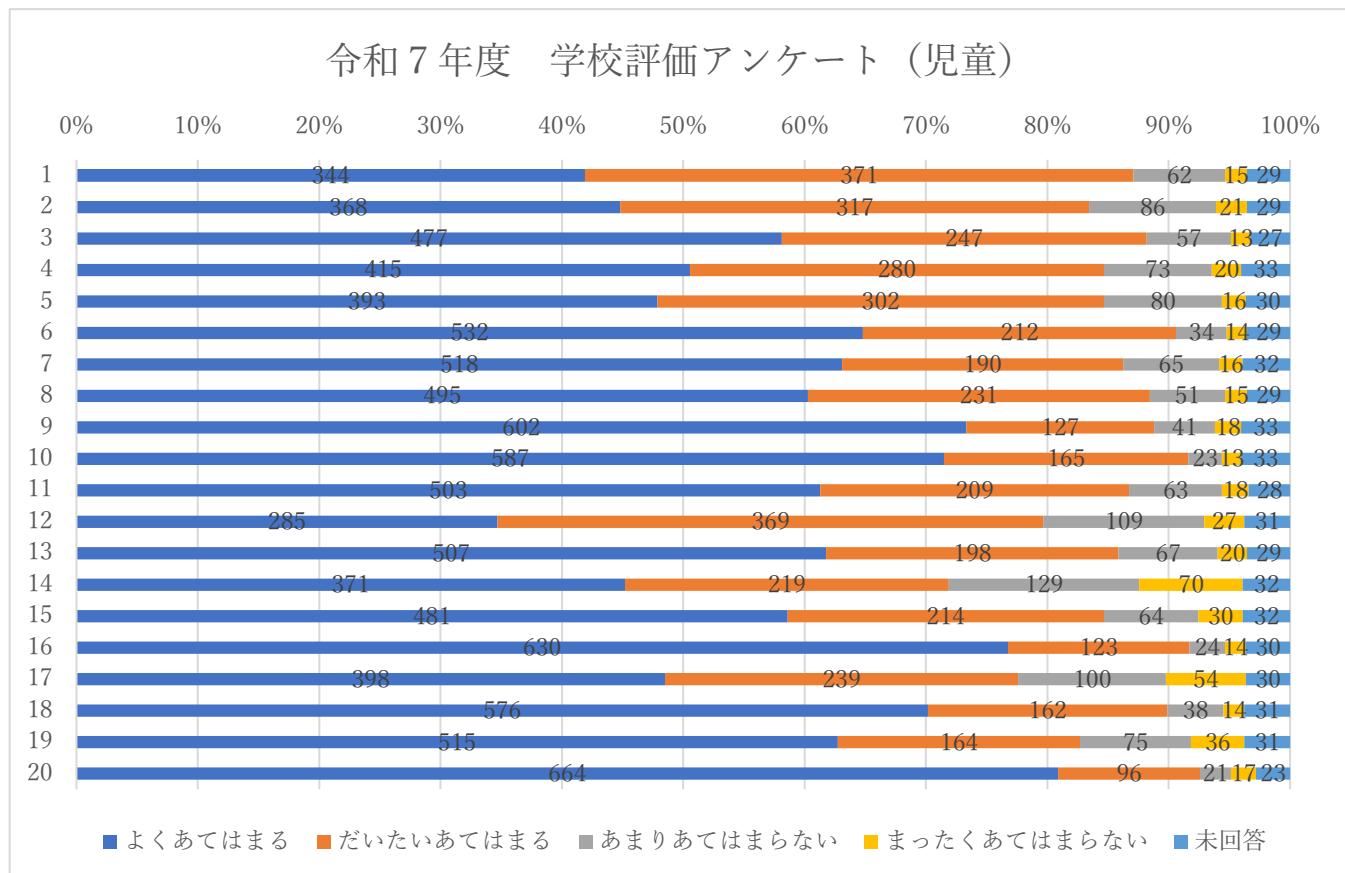
ご家庭でも、子供たちの頑張っている姿や良い変化を認めつつ、生活習慣や人との関わり方について、日常の中で声かけをしていただければ幸いです。

引き続き、学校と家庭が協力しながら、子供たちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

(5) アンケート結果（児童）

<項目>

- 1 話（はなし）を聞（き）くとき、よい姿勢（しせい）で聞（き）くことができた。
- 2 文字（もじ）を丁寧（ていねい）に書き、作業（さぎょう）を「ていねいに・ねばりづよく」とりくんだ。
- 3 進んで勉強（べんきょう）にとりくむことができた。
- 4 正しい言葉（ことば）づかいができた。
- 5 相手（あいて）にわかりやすく話すことができた。
- 6 先生（せんせい）や友達（ともだち）の話をしっかりときくことができた。
- 7 元気（げんき）よくあいさつができた。
- 8 友達（ともだち）をおもいやり、よいところをみつけることができた。
- 9 「いじめはしない・させない・ゆるさない」がまもれた。
- 10 そうじをふざけたりなまけたりせず、きちんとできた。
- 11 かかとをそろえて、くつばこにしまうことができた。
- 12 廊下（ろうか）をはしらずに右側（みぎがわ）をあるくことができた。
- 13 校庭（こうてい）あそびができるやすみ時間（じかん）は外遊び（そとあそび）をした。
- 14 じぶんからすすんで本（ほん）を読むことができた。
- 15 自分にはよいところがある。
- 16 友達（ともだち）となかよくすることができた。
- 17 学校へいくことが楽（たの）しみだ。
- 18 小金井（こがねい）やこの街（まち）がすきだ。
- 19 体をうごかすのが好きだ。
- 20 自分の命（いのち）は自分でまもることを意識（いしき）して、避難訓練（ひなんくんれん）にとりくんだ。



4 おわりに

保護者の皆様からいただいたご意見は、学校改善にとって大変貴重なものであります。今後も家庭と学校が連携し、子供たちのよりよい成長のために取り組んでまいります。